


受講料無料  
資料代  
2千円

# 「木造住宅耐震改修低コスト工法講習会」 ～耐震リフォーム達人塾(アドバンスコース)～ 開催のご案内

昨年の熊本地震・鳥取県中部地震による甚大な被害の発生や、南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生の切迫性から、耐震化に対する県民の関心が高まっています。

木造住宅のより一層の耐震化を促進するため、名古屋工業大学高度防災工学センターの協力を得て、合理的で低コストの工法を学んでいただく講習会を昨年に引き続き開催いたします。(参考：講習内容は、昨年度の2回目(アドバンスコース)を踏まえたやや上級編です。今年度は演習もあります。また、午前中にベーシックコースの復習もあるため、初めての方もご参加いただけます。)多くの皆様のご参加をお願いいたします。

- 主催 鳥取県 ■ 共催 国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学センター
- 受講対象者 ①木造住宅の設計・施工に従事されている建築技術者  
②鳥取県木造住宅耐震化技術者 ③耐震事務担当の市町村職員等
- 開催日時・申込期間・会場・定員

開催日時	申込期間	会場	定員	建築士会 CPD
平成29年9月8日(金) 10:00～17:00	8月1日(火) ～9月1日(金)	鳥取県立倉吉未来中心 (倉吉市駄経寺町212番地5) 2階セミナールーム3	186名 (先着順)	 6単位

\*定員に達した場合はお断りすることがあります。

## ■ プログラム (受付9:40～)

時間	講義内容	講師
10:00～	達人塾の概要と住宅所有者への説明技術	名古屋工業大学大学院教授 井戸田 秀樹
10:50～	行政・地域とのネットワーク	名古屋工業大学高度防災工学センター客員教授 川端 寛文
11:05～	低コスト耐震補強の手引き解説	(株)えびす建築研究所代表取締役 花井 勉
12:00～	昼休憩	
13:00～	設計例・施工例	NPO法人耐震化アドバイザー協議会 丸谷 勲
13:40～	精算法、N値法、偏心率説明・演習	耐震の専門家集団・木造耐震ネットワーク知多 成田 完二
14:50～	【建築士】課題提示+演習	(株)えびす建築研究所代表取締役 花井 勉
	【行政職員】耐震化促進に向けた対応	名古屋工業大学高度防災工学センター客員教授 川端 寛文
15:20～	達人案解説・質疑	全員
16:30～	耐震診断等の補助制度の概要説明	鳥取県
16:40～	質疑応答	鳥取県生活環境部くらしの安心局 住まいまちづくり課 担当者

- 受講料等 受講料無料・資料代2,000円  
(当日受付において、資料代として2,000円を申し受けします(現金のみ)。お釣りのないようにご準備ください。)
- 用意するもの 電卓(演習で使用しますので必ずお持ちください。)
- 受講申込方法 (受講申込書は当課ホームページからもダウンロードできます)  
裏面の受講申込書に必要事項を記入し、FAX(0857-26-8113)でお申込み下さい。
- 申込・お問合せ先 鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課  
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 TEL:0857-26-7697

この用紙を FAX して下さい。FAX : 0857-26-8113

<受講申込書>

「木造住宅耐震改修低コスト工法講習会」9月8日(金)10:00~17:00 開催

勤務先 (事務所名)		TEL	( ) -
勤務先 (所在地)	〒 -	携帯電話 (個人)	( ) -
(フリガナ) 受講者氏名			
鳥取県木造住宅耐震 化技術者の登録	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	建築士 の種類	一級 大臣登録 二級・木造 ( ) 知事登録 登録番号第 号

注: 定員は先着順です。定員超過等で受講をお断りする以外は、特にご連絡いたしません。

住宅の耐震改修における低コスト工法の概要とコスト比較

○低コスト工法の特徴  
 ・既存の壁や床、天井を壊さずに補強出来る。  
 ・外壁撤去を行わずに外部から補強出来る。  
 ⇒低コスト工法を採用すると、既存の壁や床等の復旧工事が不要となり、工事費や工期が縮減出来る。

壁全体で補強 (一般的な工法)		低コスト工法の一例				
		壁の一部で補強(床や天井を壊さずに施工)		外から壁を補強		
① 筋かいで補強	② 構造用合板で補強	③ 床と天井の間を 構造用合板とL 型アルミ型材で 補強	④ 床と天井の間を火山性ガラス 質複層板で補強	⑤ 外部から金属 のブレースで 補強		
↑		(参考)一般的な工法である「①筋かいで補強」とのコスト比較				
一般的な工法でも、押入などの仕上げを気にしないでよい箇所を中心に補強するなど、合理的な設計によっても、工事費を抑えることが可能!		①	②	③	④	⑤
		100%	73%	37%	69%	46%
木造住宅低コスト耐震補強の手引き(愛知建築地震災害軽減システム研究協議会)より作成						